

令和8年度 工事番号 7水環 第 3104-4 号

陸奥湾地区（久栗坂工区）水産環境整備工事

参 考 資 料

青森県

青森市大字久栗坂

地先

注）工事価格の円滑な見積りに資する資料であり、工事請負契約を拘束するものではない

積算参考資料（間接費補正一覧）

単 価 使 用 年 月	2026年7月		
歩 掛 適 用 年 月	2026年7月	係 数 ラ ン ク	1
基 準 適 用 年 月	2026年7月		
単 価 地 区	青森市(旧青森市)		
豪 雪 割 増	B地区		
労 務 単 価 割 増 率	0%		
現場環境改善費（率計上）			
市 街 地 補 正	市街地以外		
共通仮設費（率計上）			
主 たる 工 種	54:構造物工事（漁港）		
施 工 地 域 等 補 正	地方部（一般交通の影響を受けない場合）		0.00%
海 上 輸 送 に 要 す る 補 正	補正なし		1.00
週 休 2 日 補 正	4週8休以上		1.02

積算参考資料（間接費補正一覧）

現場管理費		
施工地域等補正	地方部（一般交通の影響を受けない場合）	0.00%
工期日数	190日間	
冬期日数	124日間	
積雪寒冷地区分	4級地	1.20%
施工時期補正	自動設定	0.78%
緊急工事補正	補正なし	0.00%
砂防・地滑り補正	補正なし	0.00%
週休2日補正	4週8休以上	1.03
工期延長日数	0日間	
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

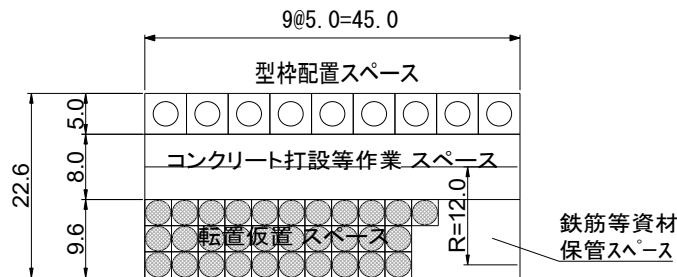
数量集計表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	当初数量		摘要
							計算数量	計上数量	
着定基質						ha	0.99	0.99	
	増殖場工					ha	0.99	0.99	
		着定基質製作工				式	1	1	
		単体着定基質製作		円形セビアA型 5.49t/個	土木⑨(高炉B) 21-8-25(20) W/C≤55%	個	91	91	
					異形ブロック製作 5.49t,直積用鋼製型枠	個	91	91	
					吊金物(Yインサート込) SS400 φ25×478	本	273	273	
		着定基質設置工				式	1	1	
		着定基質設置		円形セビアA型 5.49t/個		個	91	91	
					着定基質運搬仮置(陸上連携方式) 単体着定基質 7.1km	個	91	91	
					着定基質運搬仮置(海上一連方式) 単体着定基質 6.1km	個	91	91	
		石材着定基質工				式	1	1	
		石材投入		基礎捨石 30~200kg/個		m3	345.6	346	
					捨石投入 2割敷設	m3	345.6	346	
	仮設工					式	1	1	
		敷鉄板設置・撤去工				式	1	1	
		敷鉄板設置・撤去				式	1	1	
					敷鉄板設置・撤去 設置・撤去	m2	585.3	585	
					敷鉄板賃料 22×1524×6096	枚	63	63	
共通仮設						式	1	1	
	共通仮設費					式	1	1	
		回航・えい航費				式	1	1	
		えい航				式	1	1	
					えい航費(起重機船 鋼D120t吊) 青森漁港~浪打漁港(土屋) L=7.1海里	片道	1	1	
		運搬費				式	1	1	
		仮設材等運搬				式	1	1	
					仮設材(鋼矢板, H形鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 北海道・東北・北陸・中国・四国・九州 9.1km	t	101.1	101	片道
					仮設材(鋼矢板, H形鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 北海道・東北・北陸・中国・四国・九州 9.1km	t	101.1	101	片道
					仮設材等の積込み、取卸し費 往復分	t	101.1	101	

区 分	算 式	数 量
着定基質 増殖場工	$A = 98.75 \times 100 = 9,875$	0.99 ha
着定基質製作工	$N = 1.0$	1.0 式
単体着定基質製作		
施工数量	$N = 91$	91 個
吊金物(インサート込)	$N = 91 \times 3 = 273$	273 個
着定基質設置工	$N = 1.0$	1.0 式
着定基質設置		
施工数量	$N = 91$	91 個
石材着定基質工	$N = 1.0$	1.0 式
石材投入		
面積	$A = \begin{matrix} \text{延長} \\ 98.75 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{幅} \\ 50 \end{matrix} = 4,937.5$	4,938 m ²
施工数量	$V = \begin{matrix} \text{面積} \\ 4,937.5 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{高さ} \\ 0.35 \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{2割敷設} \\ 0.2 \end{matrix} = 345.6$	345.6 m ³

区 分	算 式	数 量
仮 設 工	$N = 1.0$	1.0 式
	敷鉄板設置・撤去	
	敷鉄板賃料 $22 \times 1524 \times 6096$ $N = 63$ 枚	63 枚
	設置・撤去面積 $A = 1.524 \times 6.096 \times 63 = 585.3$	585.3 m ²
運搬量 t/枚 $W = 1.604 \times 63 = 101.1$	101.1 t	

円形セピアA型 製作ヤード



必要ヤード面積 1,017m²

- 内訳 型枠配置スペース 225m²
- コンクリート打設等作業スペース 360m²
- 転置仮置スペース(ブロック3段) 317.4 m²
- 鉄筋等資材保管スペース 114.6 m²

転置仮置について
積重ねは、人が踏み台等を使わず
作業できる高さでかつ、円形セピア
の積重ね実績を考慮して3段と設
定しています。

うち型枠配置スペース+コンクリート打設等作業スペース

$$225m^2 + 360m^2 = 585m^2 (\text{要敷鉄板面積})$$

$$585m^2 \div (1.524 \times 6.096) = 62.97 \approx 63 \text{枚} (\text{要敷鉄板枚数})$$

敷鉄板供用日数

型枠組立～コンクリート打設～養生～型枠組外の作業日数とする

1サイクル	ブロック製作個数91個/型枠個数9組		
6.30日	×	11.0サイクル	= 70日
		週休2日考慮	80日
		敷鉄板設置・撤去	2日
		敷鉄板搬入・搬出	2日
		計	84日